

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成23年8月(2011年) No.548

OMC映像フェスティバルの プログラムが決まりました

10月2日(日曜日) 大阪市立中央会館

暑中お見舞い申し上げます。暑さの中、節電ムードもあって、我が家は網戸と扇風機が主役ですが、何とか無事この夏を乗り切って行かなければと思っています。さて恒例のOMC映像フェスティバルの上映作品リストがこのほど行われた幹事会で決まりました。

■上映作品(敬称略)

①一攫千金の夢を見て(H) 山本正夢 8分、②若狭小浜(H) 紙本勝 13分、③北海の墓標(H) 関剛 8分、④よみがえる葎原(H) 進藤信男 12分、⑤京友禅張り絵師(SD) 高瀬辰雄 12分、⑥子育てペンギン(SD) 上総修一郎 3分、⑦裏方さん(H) 吉岡貞夫 14分、⑧あるお地藏さんのお嘶(H) 前田茂夫 11分、⑨五十鈴神社三国一煙火(H) 井上勝彦 7分、⑩舩倉島のカミを迎えて(H) 河合源七郎 14分、⑪霧の竹田城址(H) 江村一郎 6分、⑫新薬師寺のおたいまつ(H) 黒田敏彦 19分、⑬花博公園は今(H) 有村博 10分、⑭元陽への旅(SD) 合原一夫 12分、⑮もう一つのねぶた祭(H) 上田吉巳 11分。以上15本。開場12時30分、上映13時です。作品テープは8月例会の際、関さんへお渡し下さい。出品料(10分迄8千円、1分増す毎に千円UP)は9月例会日迄に会計へどうぞ。

プログラムが出来ましたら、お知り合い、ご家族など出来るだけ多くの方を誘って下さい。今年も盛会を祈念したいと思います。

■全国映像コンテスト受賞おめでとうございます

- ・平成23年度 第45回全国ビデオ映像コンテスト 入賞
前田茂夫さん 「あるお地藏さんのお嘶」(HDV) 10分

8月例会のお知らせ

8月例会日27日(第4土曜)の午後6時より、いつものJR難波駅上4階難波市民学習センターにて開催します。会場は冷房が効いていますのでその対策をどうぞ。皆様のお越しをお待ちしています。

白浜撮影会作品コンテスト

最優秀賞は江村氏「雨天白浜」に

今年の撮影会は台風2号接近のあいにくの天候でしたが、会員13名の参加があり、悪天候なりに何とか作品にされ、コンテストには7本が出品されました。

◎最優秀賞

雨天白浜(H) 江村一郎氏 6' 45"

◎優秀賞

白浜・海の叫び 前田茂夫氏 9' 51"

◎優秀賞

宮崎紀代子さん

雨の一日 ' 11年5月28日 6' 01"

◎努力賞

白浜雨情 上田吉巳氏 7' 40"

砂にかいた願いごと 岡本至弘氏 8分

幻の砂まつり 進藤信男氏 7' 50"

白浜砂まつり雨天中止

江藤洋司氏 2' 08"

以上、岡本作品 W の他はすべて H です。

■総評 (合原会長)

私自身が作品を完成していながら、コンテストの賞品の準備やらに追われてつい、作品を持参するのを忘れてしまうという、大失態をおかしました。はたして何本出品されるかと懸念されましたが、7人の方が出されてまずまずでした。天気が悪く1日目はともかく2日目は、いよいよ台風接近で風雨とも強くなりそうだったので、2日目を如何に熱心に撮影するか、あきらめて帰ってしまうかの差が作品の質にも左右したようです。三段壁の洞窟内の激しい波しぶきの様子は2日目に行かれた方の作品によく出ていてクライマックスでした。特に上田作品、続いて前田、江村両作品は良く撮られていました。バラ園の扱い方、水族館の魚たちと、他の場面との繋がりが少し不自然な感じの作品も見られました。この点、「雨やどりを兼ねて水族館へ…」というナレーションを入れられた宮崎さんのは判り易くてよかったですと思います。三段壁が自殺の名所ということで、お地蔵さんと断崖絶壁、荒波と織り交ぜて印象を深められた前田作品、江村作品、上田作品はよかったです、それぞれ個性が見られました。砂まつり会場を熱心に撮られて中止を惜し

む思いを語られたのは前田作品が一番よかったですと思いました。江村さんはさすがに編集技術、表現術はうまいですね。最優秀賞を獲得されましたが、一般の方が見たら、水族館の魚たちがあちこちに出没するので、アレッと頭が混乱するかも知れませんね。

岡本さんは後日雨の日に女性を連れて白浜へ行かれ、撮り足しておられますが、このときはもう砂山は撤去してあったので、表現に少し無理があったようです。しかしそのご熱心さには敬意を表します。進藤作品は「幻の砂まつり」という題名で、砂まつりがテーマなので、構想にもう少し工夫がほしかったと思います。江藤さんは砂まつり会場等いいカットがありましたが、悪天候で撮影断念されたのでしょうか。

7月例会レポート

23日(土)午後6時よりJR難波市民学習センターにて行いました。猛暑の中でしたが冷房の効いた例会場に、26名の出席者で作品13本が出品されました。

体調をくずされて4月から欠席されていた錦務さんが元気な姿を見せられて何よりでした。

この日の司会は吉岡氏、書記、岡本氏、機材担当、江村、河合、井上の3氏、受付兼照明係は宮崎、宮井の両氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、井上、上田、江藤、江村、岡本、上総、河合、黒田、合原、進藤、関、高瀬、玉井、錦、西村、華岡、船橋、前田、宮井、宮崎、森下、森田、山本、吉岡、渡辺の26氏

■上映作品

1. おこない(SD)

玉井 勻さん 12分30秒

この作品について作者は「まだナレーションは入れていませんので長い目にしてもってきました」とのことでした。BGMもなく未完成作品ため司会者から内容が理解できないとの意見がありました。

映像から、「おこない」について調べてみると近畿地方ははじめ西日本各地にみられ

るが、特に滋賀県の湖北地方と甲賀地方で厳冬の時期にさかんに行われる「民族宗教行事」であるようです。湖北地方には118集落、甲賀地方には40集落があるようです。作者は湖北、木之本町、杉野中で撮影されています。お神楽や田楽のように舞などはみられませんが、粛々と進む神事には地方独特の深い祈りを感じます。

貴重な記録であり、「おこない」について、いろいろな意味合いがあるようですのでまずは作者の作品の完成を期待することにしましょう。頑張ってください。

2. 秘境の駅 (HDV)

江村 一郎さん 6分20秒

この駅は徳島県三好市池田町西山にあるJR四国・土讃線「坪尻駅」である。徳島県と香川県の県境にある猪の鼻峠付近、標高272メートルの地点にある秘境駅だ。昭和4年に信号所として開設され、昭和25年に駅となったようだ。昔は人が住んでいたが、今は住民もいなく、車もいかないし山林や川しかなく通過する列車もあるとか。廃屋同然の駅舎も今は訪れるファンが増えているとか。

3年間にわたって同じ時期に通われて取材されて、6分あまりにまとめられ凝縮された作品になりました。まあよく行かれました。

3. 工場見学は面白いね+720P (HDV)

前田 茂夫さん 11分00秒

昨年の秋に、JR西日本吹田車輛工場での見学会の様態を撮影されました。最初にミニ新幹線に乗る親子づれの様子が映し出されます。そして車輪工場では車軸と車輪が組み立てられる様子です。筆者も車輪の製造には間接的にかかわった者として興味深く拝見させていただきました。家族づれが真剣に見学されている様子がよく撮られていました。

タイトルの後に付いた+720Pは2003年3月にアマチュア用として世界で初めて開発されたビクターのハイビジョンカメラで撮った映像を混在編集されたものです。この当時作者が初めて例会に持参された映像を見た会員一同は驚きの声を上げたものでした。ビクターHDVカメラは72

0Pの方式で今の1080iに比べて性能は劣るのですが、当時撮影した映像を何とか陽の目を見せられないかと持参されました。編集時タイムラインに載せて1.5倍に拡大したものでややしんどいところがあるようです。参考になりました。

4. 芝桜 (HDV)

関 剛さん 8分50秒

今年の5月に北海道網走郡大空町の東藻琴芝桜公園への撮影行作品です。

広大な敷地に芝桜の絨毯を敷き詰めたような中を車での移動撮影からはじまります。芝桜ゆえアップがあまり撮れなかったようです。後半は4人乗りのヘリコプターでの空撮です。北海道ならではの光景でした。地上撮影と空撮を混合するとおもしろいのができたかあとと思いました。

5. STEP BY STEP (HDV)

有村 博さん 5分28秒

水波や電波、ガラスの回転などアナログでない撮れない映像があったのでハイビジョンでできないかとテストしてみたとのこと。テレビ電波を鏡にうつされ撮影されたのをハイビジョン編集されました。大変面白い作品になりました。

6. からくり人形に秘められて (HDV)

進藤 信男さん 9分06秒

石川県金沢港大野からくり記念館を訪ねられた作品。ここは幕末のからくり師「大野弁吉」の作品を中心に、からくり人形の歴史や復元模型が展示されています。「大野弁吉」の紹介からからくりの文化についてまとめられました。興味があるので一度行ってみたいところです。

7. 那智の火祭り (HDV)

河合 源七郎さん 7分28秒

日本三大火祭りの一つに数えられる熊野那智大社の例大祭。毎年7月14日、熊野権現と呼ばれる12体の熊野の神々が扇神輿に身を移し、いにしえに鎮座している御滝前の飛竜神社へ年に一度、里帰りする様子を表した神事です。この祭りを一回で撮るには大変困難ですがお一人でよく撮られました。ナレーションをいれないと初めてみられる方にはよくわからないと思います。来年も挑戦されて合成されるとすばら

しい作品になると思います。

かつてはOMCの会員も挑戦されています。勇壮でいて、かつ幻想的な作品に仕上げられることを期待しています。

8. 桜散り初めぬ (HDV)

上総 総一郎さん 9分06秒

作者がハイビジョンが出始めたころにつくった作品ですともってこられました。おそらく数年前だと思えます。

例会で上映してみると、入れられたはずのナレーションの音声がありません。原因が解らずBGMと映像だけの上映になりました。後日この講評を書くにあたり再現してみるとナレの音声がでるではありませんか。おそらく編集時にアナログでセパレートに入った音声の例会ではデジタルの為、ナレの音声だけがでなかったようだと思いますが、この件については今後検証する必要がありますと思えます。

作品の内容は、富士山の近郊の桜を撮られているようです。桜の散り際をうまく収められています。ところどころに歌人のよまれた歌を挿入されています。

ところでその散り際のナレーションを再現しておきます。「わたしは、花の散り際がすきですが、一生懸命咲いている桜、満開は満開で充分楽しませてくれるものだと思います。様々な散り際をタイトルにしようわたしは夢中になりました…。ちなみに前作の前田作品のカメラは2003年3月発売のビクターのGR-HD1、この上総作品のカメラは2004年10月発売のソニーのHDR-FX1、その後2005年7月に出たのが同じくソニーのHDR-HC1です。(資料提供前田氏)

9. 永沢寺の花しょうぶ (HDV)

吉岡 貞夫さん 7分40秒

今年の6月にグループで三田の永沢寺(えいたくじ)の花しょうぶ園にいかれました。1万6千坪の敷地内のお寺は永澤寺(ようたくじ)と呼ばれる。

昭和50年に開園され、650種300万株の花しょうぶは見ごろを迎えている。水面に花しょうぶなどうまくとらえられています。作者独特のナレーションで解説されたら良かったかなと思いました。

10. 中朝国境に行く (HDV)

山本 正夢さん 10分50秒

この6月に中朝国境地帯を訪ねられた作品。中朝国境といわれ、悠揚と流れる川を船旅の様子が撮られています。岸边には兵士がいたり、戦歴の後が残っていたり、歴史の変遷を感じました。

11. 愛染祭り (HDV)

渡辺 雄史さん 6分35秒

天神祭り、住吉祭りに並ぶ大阪三大夏祭りの一つで、トップをきっておこなわれるのがこの愛染祭りです。愛染まつりの一大イベントである宝恵かごパレードを撮られています。宝恵かごの女性はなぜか準ミスで正ミスはどうしたのでしょうか。ともかくきれいどころはカメラをむけるのも楽しいですね。

12. 祇園祭曳初め (HDV)

高瀬辰雄さん 8分50秒

京都の夏はやはり祇園まつりですが、組み立てからはじまる映像はなかなか見ませんが、この作品は克明に撮られました。

こどもたちが曳きはじめる様子がよく撮られています。ただBGMが映像とマッチしないのが気にかかります。

13. 大阪城の秋 (HDV)

船橋喜敏さん 11分40秒

この作者の作品制作意欲には脱帽します。大阪城の秋を丹念に克明に撮られていますし、いいカットがたくさんあります。

ところが重複カットもたくさんあるのでそのへんを整理されるとよくなるのではないのでしょうか。それと映像の繋ぎ方も工夫されるとよいでしょう。それと撮影時にアップをもう少し撮っておいてほしいです。それからBGMの「小さい秋…」の曲は大阪城にはあいにくいと思います。長さももう少し縮められたら良くなると思います。頑張ってください。期待しています。

14. 雨天白浜 (HDV)

江村 一郎さん 6分51秒

この作品は、例会に先立って行われた撮影会作品コンテストで最優秀賞を受賞された作品です。講評については、前欄で掲載されておりますのでそちらをご覧ください。